

令和5年度第1回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影 CS 委員会合同開催)

会 議 録

1 出席委員等

清水 CS 委員会~宮城委員、林委員、中村委員、石井委員、横山委員、下坂委員、
内田委員、恩田委員 欠席~長尾委員、土屋委員、堀委員

御影 CS 委員会~米光委員、口田委員、中村委員、上谷委員、田中委員、細田委員、
谷口委員、乙戸委員 欠席~久野委員

【教育委員会】 山下教育長

【事務局】 渋谷学校教育課長、安ヶ平社会教育課課長、太田同課参事、山川教育
指導幹、野田教頭、平野教頭、津田副園長、三木教頭、堀口教頭、休
宮教諭、柳田教諭、亀山教諭、澤田教諭、上出 CS コーディネーター

2 場 所 清水町文化センター大集会室及び会議室 2

3 日 時 令和5年4月18日(火) 19時20分

しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議に引き続き開会

4 傍聴人数 なし

5 会議内容

学校運営協議会(CS委員会)委員の任命

教育長より各 CS 委員会代表に交付し、その後、各委員会において学校教育職員より
各委員に手交する

委員長及び副委員長の決定

委員会会則により本年度は両小学校 PTA 会長に委員長として決定

副委員長は委員長指名により清水 CS 委員会は宮城委員に、御影 CS 委員会は細田委員
に決定

説明・協議事項

合同会議は CS コーディネーターが議事進行

(1)コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について(事務局説明)

学校教育課長より資料に基づき制度を説明

(2)各学校等の経営方針について(各学校等から説明)

第1回しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議における説明をもってCS委員会説明とする。

清水・御影小学校長及び清水・御影中学校長から本年度経営方針を『教育のデザイン「企画編」』を用い説明あり。

清水及び御影に分散した後に各CS委員会において、全委員からの承認を得た。

(3)熟議

清水CS委員会は2分散会、御影は2分散会で討議し、大集会室にてすべての班から発表を行う。

熟議①しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について

しみず「教育の四季」12の窓のシートを参照し、社会全体で子供たちを育むための家庭・学校・地域が年間を通し特に重点として取り組むべき事項について討議する。

清水A班

家庭	学校	地域
<ul style="list-style-type: none">・SNS等に頼り親子間の愛情不足なのでルールを根付かせる。・絵本の効用	<ul style="list-style-type: none">・ICT活用は図られたが模造紙などアナログの活用も必要・地域に対し、協力してほしいことを伝える。	<ul style="list-style-type: none">・ポストコロナとして子どもや地域の行事を新たに作り直す・子どもと地域が交流する場の創出(職場体験など)・学校への協力体制

清水B班

家庭	学校	地域
<ul style="list-style-type: none">・読書の役割は大きいので家庭での読書を促す	<ul style="list-style-type: none">・引き続きあいさつの指導	<ul style="list-style-type: none">・関係者とわかる服装などに配慮し、地域の方から子ども達にあいさつ、見守り・学校環境整備等に参加・地域探求学習への協力

御影A班

家庭	学校	地域
<ul style="list-style-type: none">・スマホやゲームの取り扱いの親子での共通認識(冬)	<ul style="list-style-type: none">・地域参観日の再開・地域を巻き込む行事のあり方の工夫・朝読書で心を通わせる。	<ul style="list-style-type: none">・地域でのあいさつ、声かけ、見守り(春)・移動図書(秋)・子どもと高齢者と交流の

	(秋) ・ 伝統を引き継ぎ伝える。 (校内の子ども達の行事について、コロナによる空白を中学生と小学生との交流によりノウハウ伝達はできないか。)	場をつくる(冬)
--	---	----------

御影 B 班

家庭	学校	地域
<ul style="list-style-type: none"> ・ TV オフからスマホ・タブレットオフに変更を ・ 改善センター図書コーナーの利用で本を借りることの習慣づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自発的な挨拶の指導 ・ 読書の習慣づけ ・ 食育として給食レシピを地域活動や PTA 活動に活かすよう働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育を地域が共有して取り組む ・ 改善センター図書コーナーの利用やおすすめ本の普及などにより本を借りることの習慣づけ ・ 食の楽しさを伝えるため PTA を通じた体験機会の提供

熟議②CS 委員会の事業計画について

清水 A 班

春先の花壇など環境整備、交通安全のための見守り、ワインロードの花壇の除草等 PTA 事業への協力。地域の人と親や子ども、教員との交流の場として

清水 B 班

- ・ 授業参観の継続実施
- ・ 環境整備への協力
- ・ 花壇整備への協力

御影 A 班

- ・ コロナによる 3 年間の空白を埋めていくため、子供の視点での「楽しかったこと」の伝統をつないでいくために家庭、地域、学校が連携して取り組んでいくこと
- ・ 子どもや親が安心できる地域づくり

御影 B 班

- ・ 何か一つでも子供たちに形として残るものを

出された意見は今後、事務局において検討のうえ、①については一本化することの

了承を得え、②については、今後の CS 委員会の活動の参考とする。また、これまでに
出された意見の具現化を促す提言もあり、今後の委員会論議のテーマ設定の一つとし
て検討することとした。

(4)その他

各委員との連絡体制構築のため SNS 等の活用について事務局として検討しているこ
とを説明

CS コーディネーターの閉会あいさつにより終了。

(20 時 38 分)